

## 令和5年度お薬相談業務等の復帰支援研修会報告

令和5年度第1回復職支援研修会 令和5年10月14日(土)

### 研修会内容

1. 「保険薬局の実務～疑義照会と後発品への変更」  
医療保険委員会副委員長 江原竜治 先生
2. 「在宅医療～報告書の作成について～」  
在宅医療委員会委員 吉田貴大 先生
3. 連絡事項 ・ 県薬ホームページ復職支援ページでの求人情報  
及び日本女性薬剤師会の研修会情報掲載を紹介

### 参加者からのご意見、ご感想

在宅の経験がないのでわかりやすくて良かったです。

全ての薬剤師の方に聞いてもらいたい内容でした。

後発品への変更について具体的に例を用いてのご講演、とてもわかりやすかったです。

在宅医療のあり方や医師への情報提供書の書き方やフォローのやり方などもわかりやすくお話いただけてありがとうございました。

細事に再確認ができて良かった。

内容が濃く、良かった。地域薬剤師会でも講演していただきたい。

保険分野、在宅医療分野共に疑問点が少し解決しました。

### 後記

日常業務にも参考になるとの意見が多く、参加してよかったという意見が多かった。

今後の研修会等で、再講演をしていただきたいと感じるほどでした。



## 令和5年度第2回復職支援研修会

令和5年11月23日（祝・木）10:00～11:30

### 「話すチカラと聞くチカラ」

株式会社サガテレビ

報道部主任兼アナウンス室 平川邦明様



・ 話すチカラとは  
挨拶も会話もTPOに適切だと心地よく“ハキハキ” “明瞭な音”は爽やか好印象

小さな声・おどおど/もごもごした話し方

⇒自信がない/丁寧でない等ネガティブな印象を受ける

曖昧で回りくどく、だらだら長々した話し方

⇒簡潔にわかりやすく、情報過多は途中でギブアップ

#### ・ 発声練習

「あいうえお」 「まみむめも」 「らりるれろ」

#### ・ TPOに合わせた聞き取りやすい話し方

⇒爽やかな印象をもたれ話がしやすい雰囲気に

#### ・ ニーズに対し簡潔でわかりやすく“寄り添った”話し方

⇒「私の事を考えてくれている」等受け入れてもらえる可能性大

#### ・ 話すチカラのポイント

1：ハキハキ＝爽やか印象

2：TPO・相手に合わせたボリューム&言葉選び

3：読む/話す/説明する以上に「伝える」意識

4：表情や仕草でも伝わる

5：求めている事は何か常に考える

6：相手が何を知りたいか常に考える

⇒ “聞くチカラ”

・ 聞くチカラの内訳は… 知る：5割 察する：5割

#### ・ 聞くチカラのポイント

1：できるだけ目を合わす

2：批判せずに話を聞く

3：相手は話を聞きたいのかそれとも話をしたいのか

4：適度に相槌を打つ

5：相手への理解と共感

6：仕草など言語以外からも理解を試みる

- ・話すチカラと聞くチカラのまとめ  
場や時に応じた“ハキハキ”  
“話す”以上に“聞く”  
寄り添う⇨相手を知ることから

令和5年度第3回復職支援研修会

令和5年11月23日（祝・木） 12:00～13:30

「漢方薬の保険調剤について」 佐賀県薬剤師会顧問 高祖順一先生



- ・漢方薬処方実態調査
  - 中国、韓国は西洋医学、中医学で免許が異なるが日本ではどちらでも自由に診療できる。
  - 現在漢方薬を処方する医師は90%にのぼり、治療効果、患者の満足度で高い評価を得ている
- ・医師1人あたりが処方する漢方薬の種類数について、
  - 全体平均8.5種類
  - 種類数の多い診療科は産婦人科、内科 14種以下が全体の7割
- ・漢方薬処方のきっかけ
  - 主にMRからの情報提供および他の医師からの勧め
- ・漢方薬処方理由
  - 西洋薬のみの治療および西洋医学治療効果がなかったため
  - 患者さんの要望
  - エビデンスが学会で報告された等